



これからも一緒に！

御神木けやき活用プロジェクト





学制発布直後の1873年（明治6年）1月、美谷本小開校以来、152年の歴史とともに歩んできた「けやき」は地域に愛される存在で、美女木の**御神木**とも呼ばれてきました

また、校歌の3番「校庭のけやきの 空高く」にもあるとおり、美谷本っ子、そして卒業生の**精神的支柱**となっていた木でもあります。

7月24日 12:40頃に発生した**落雷を伴った突風**の影響により、「けやき」が倒れてしまいました。幸い、けが人はいませんでした。



これまで、美谷本っ子の成長を見守ってくれたけやきに感謝するとともに、御神木がなくなっても、その精神をともにしていくことが必要です。

地域の方々からは、けやきを後世に残せるようけやきの木材をできる限り活用し、残してほしいという要望があります。

そこで、本プロジェクトを立ち上げ、**子供たちや地域、**そして協力してくださる**企業**とともに、**けやきを後世に残せるもの**をつくっていきたいと考えます。

○必要経費の概算金額・・・企業等からのアイデアを募集し、クラウドファンディングで得た金額とマッチングさせていく

○留意事項要件について

- ①けやき材の活用については知見がないので、企業等の協力も得ながら進めていき、社会に開かれた教育課程の実現をする「脱・自前主義」である。
- ②企業等の提案を受け、子供たちや地域が主となってけやき材の活用を考え、創造していく部分が多分にある「脱・予定調和」である。
- ③教師主導ではなく、子供、地域、企業が協力してつくりだしていく「脱・教師主導」である。

このプロジェクトは、御神木けやきが亡くなった今、美谷本小の新たな歴史を創造していく上で、とても重要なものであります。



けやきは、これからも一緒に

美谷本小の未来づくりを

このプロジェクトからスタート